

SSKP 船橋障害者自立生活センター

2019年1月

うえいぶニュース

88

〒273-0004 船橋市南本町 8-25 ラックス船橋 TEL : 047-432-4554 / FAX : 047-432-4565
URL : <http://www.cil-funabashi.org/> E-mail : cil-funabashi@cil-funabashi.org



節目の年に・・・



明けましておめでとうございます。皆様にはお変わりなく新年をお迎えのことと思います。

さて、ご承知のように今年は、三十年間続いた平成という時代が終わり、新しい時代がスタートする、いわば節目の年に当たります。そんな折も折、後ろのページでご報告がありますが、理事会の決定によって私は代表理事を退任することになりました。

振り返ってみますと、2001年に自立生活センターがNPOとしての認証を頂いて以来、代表理事としての自らの力不足に忸怩たる思いを繰り返しながらも、多くの方々に有形無形のお力添えを頂きながら、今日まで続けてくることができました。ここに改めて感謝申し上げます。

もちろん、新しい年号のもとに次の時代が始まっても、障害者を取り巻く問題はさまざまな形で残ります。制度が年々複雑化していて、むしろ問題が見えにくくなっている印象もあります。従って、当事者の視点で問題を整理して発信するという意味で自立生活センターの重要性が増すことも考えられます。

そんな気持ちで、小さな団体ではありますが何とか次の世代にバトンタッチできないものかと考えていた矢先、同じく後ろのページにご紹介がありますが、小松直勝さんが後任としてかじ取りをしてくれることになりました。難病を持ち、毎日それと折り合いをつけながら、精力的に仕事をこなしてくれています。私自身、小松さんに重荷を押し付けてしまったような気持ちもありますが、きっと新しい時代にふさわしい新しい活動を展開してくれると確信しています。

どうか、今まで以上のご支援をお願いいたします。

代表理事 杉井和男

代表のぼやき・・・



～「バリアフリーは誰のもの？」～

東京オリンピックやパラリンピックを間近に控えて、「バリアフリー」という言葉が注目を集めるようになってきました。海外からの見物客のためにも快適でスムーズに移動できる環境を作ろう、という趣旨だろうと思います。そのこと自体には何の異論もありませんし、大いに進めてほしいところですが、問題はその中身です。

私は、ほとんど毎日電動車いすで外に出て、いろいろなところへ出かけています。ヘルパーさんと一緒の時もありますし、一人の事もあります。最近は路線バスにはスロープが常備され、鉄道の駅にはエレベーターが設置されるなど、外出には便利になりました。また、出先でも、ある程度大きな公共的な建物には車いすでも使えるトイレが設置されて、気軽に用が足せるようになりました。

ところが、少し大げさな言い方をしますと、この「バリアフリートイレ」には意外に複雑な問題が含まれています。私は、歩行が出来ないだけでなく、手の自由もあまりありません。したがって、一人でトイレを利用するのも楽ではなく、車椅子のマークの付いたトイレをみつけても、それだけでは安心できないのです。

トイレの問題の第一段階は出入口の扉です。腕があまり伸びず、力もないので、引き戸の開閉が手動か電動か、電動の場合はスイッチとなるボタンの形状、位置、押すときの硬さなどがチェックポイントになります。さらに、肝心の用足しはいつも持ち歩いている「マイ尿器」を使い、それを空けて、さらに水で濯いで、最後に水洗という段取りになります。しかし、ここでも問題が発生します。ほとんどのトイレは「尿器を使って用を足す」という使い方を想定していないように感じられます。従って、用を足したり濯いだものを流す専用の設備もなく、一般の水洗ボタンやレバーが便座に座った状態でないと手が届かないレイアウトになっている所も少なくありません。

同じように車いすを使っている、上半身が自由に動くとは限りません。「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」を標榜する設備であればどのような障害の人がどのような使い方をするのかをじっくり考えてほしいと思います。

臨時理事会を開催しました！！

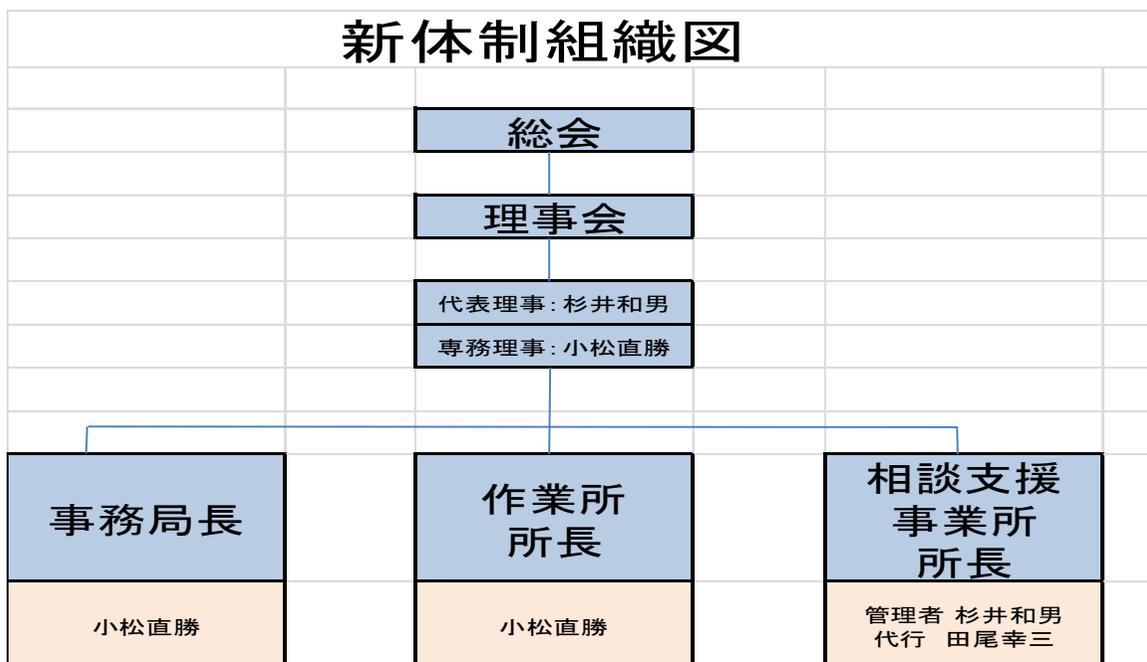
理事 田尾幸三

11月17日（土）午後1時半から、センター事務所において理事会を開催しました。5名の理事に加え監事の全員が出席し、杉井代表理事の体調不良に伴う体制作りについて協議しました。代表理事の体調については数年前から二次障害の影響もあって衰えが目立つようになり、辞任の意向を示されていましたが、後任になる適任者がなく今日に至りました。幸い後継者が育ちつつあり、今般、小松直勝さんと言う専務理事候補者が得られたので、協議し選任頂きました。

小松直勝さんは、30代半ばで、自立生活センター経験も3年ばかりであります。小さな法人ではありますが、一通りの業務があります。特に作業所と相談支援事業所は障害者福祉サービスを担う公的事業で、大きな責任を背負っています。理事会は勿論、皆様にも特別なご支援ご協力を頂かなくては、持続はできません。当面、代表理事の任期1年半を限度に引継ぎを行う予定です。従って最初は、代表理事がCEO、専務理事がCOOの役割分担で法人運営に当たります。

組織図は次の通りです。

FIL 組織図



2018年度ピア・カウンセリング長期講座のお知らせ

この度、船橋障害者自立生活センターでは、下記の日程で「ピア・カウンセリング長期講座」を行います。ピア・カウンセリングとは、病院で行っているカウンセリングと違い、お互いが対等の時間を持ち合い、話す人、聞く人となって行われるものです。話をしたあとは心のもやもやのスッキリ、聞いた後はなるほどと思われ、障害を持つ者同士が悩み、気持ちを分かち合い、互いに話を聞き合う事を進めていきます。色々な人と知り合い、学び合う場にもなります。私って、こんなにうまくやってきたのね。素敵なところを持っていたのね。と世界で一人だけのパワフルな自分を発見できるはず。たった一度の人生だから、今の気持ちを吐き出して、スッキリした気分で自分をとらえ直し、新しい自分を発見してみませんか。ピア・カウンセリングに通う事は精神的にも肉体的にも自分をコントロールするいいチャンスです。社会に向けてのチャレンジです。障害を持つ仲間同士が互いに助け合い、自己信頼を取り戻していくことを目的とします。障害を持っている人ならどなたでもかまいません。私達と一緒にピア・カウンセリングの良さ、大切さを体験しましょう。この講座は8日間を2回に分けて開催します。先着8名様となりますので、事前にご連絡をお願いいたします。

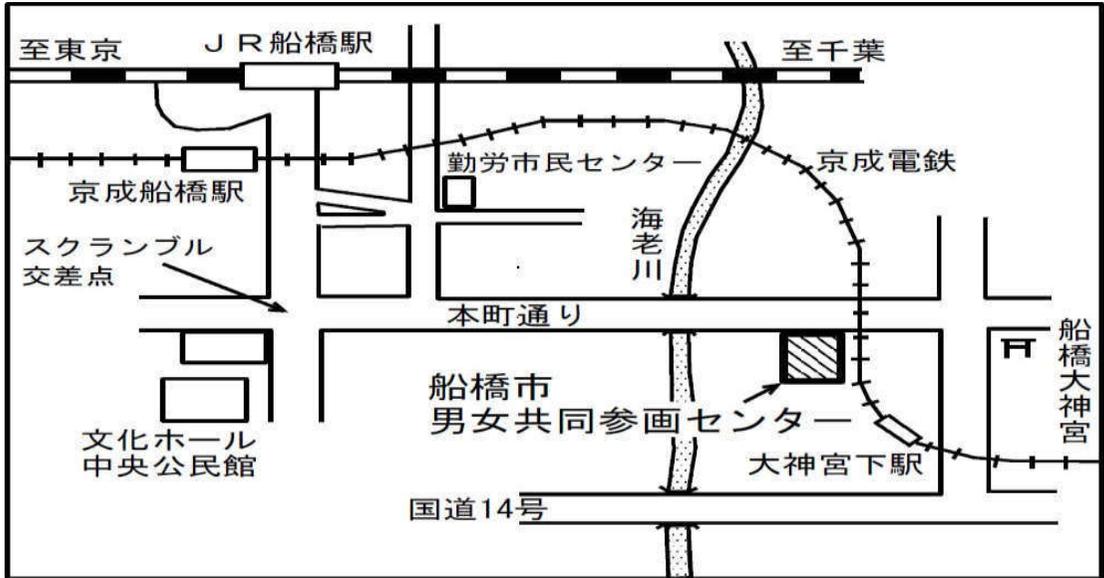


開催要綱

- ☆主 催 : 特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター
- ☆初 回 日 程 : 2月5日(火) 13:00~16:30 2月6日(水) 9:30~16:30
2月7日(木) 9:30~16:30 2月8日(金) 9:30~12:00
- ☆二回目 日 程 : 2月27日(水) 13:30~16:30 2月28日(木) 9:30~16:30
3月1日(金) 9:30~16:30 3月2日(土) 9:30~12:00
※各回4日間の合計8日間となります
※初回の初日のみ 13:00 より受付開始
※二回目の参加は、初回に参加された方のみとさせていただきます
- ☆会 場 : 船橋市男女共同参画センター 研修室(部屋の変更がありますが、参加される方に事前にお伝えします。)
(〒273-0003 千葉県船橋市 宮本2丁目-1-4 TEL: 047-423-0757)
場所は次ページの地図参照
- ☆定 員 : 8名(先着順となりますので、事前にご連絡をお願いいたします。)
- ☆参加資格 : 障害を持っている方で、ピア・カウンセリング集中講座を受講した経験のある方
(障害の種類や程度は問いません)
- ☆参加費 : 無料(宿泊費等は各自負担となります)
- * 宿泊をご希望の方は別途お問い合わせ下さい。
- * 要約筆記をご希望の方は別途お問い合わせ下さい。
- * 申し込みは、1月29日(火)までお願いいたします。

＜申し込み先・お問合せ先＞特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター
〒273-0005 船橋市南本町8-25 ラックス船橋 Tel: 047-432-4554 Fax: 047-432-4565
Eメール: cil-funabashi@cil-funabashi.org (担当: 杉井・小松)

船橋市男女共同参画センター地図（千葉県船橋市 宮本2丁目-1-4 TEL：047-423-0757）



ピア・カウンセリング長期講座では以下のプログラム
を8日間の中で行っていきます

ピアカウンセリングとは	人間の本質・感情の開放 (人間ってもともといいもんだよね)
ピアカウンセリングと自立生活センター (ピアカウンセリングの事を知ろう)	障害について (自分の障害って何だろう)
信頼すること (自分自身を認め信頼するためのワーク)	カウンセラーであること・アプリケーション (仲間だったらカウンセリングもできるさ)
サポートを得ることあげること (あなたも誰かを助けることができるんだよ)	抑圧 (知らないうちに抑えられている?)
力について (みんなも誰も生きていく力があるんだよね)	自己主張トレーニング (言いたい事が伝わらないとストレスたまるよね)
リーダーシップ (障害者のリーダーシップが大事なんだよ)	私たちの権利 (知らないうちにやりたい事が出来なくなってるかも)
パターンとコントラディクト (一度嫌な思いをするとまたなるようなきがする)	自立生活プログラム (自立生活ってホントに出来るんだよ)

特定非営利活動法人 船橋障害者自立センター講演会

～「バリアフリーの今」～

この度、船橋障害者自立センターでは「バリアフリー」問題を取り上げた講演会を開催いたします。オリンピックやパラリンピックを間近に控えてバリアフリーへの関心が高まっているように見えますが、船橋の街づくりの中でのバリアフリーの位置付けが今一つ明確ではないような印象を受けます。今回の講演会の中では、船橋市役所の担当者と障害当事者を講師に招き、それぞれの立場から問題を提起して、全国的な取り組みなども紹介していただきながらよりよい街づくりやバリアフリーのあり方について共に考える場にしたいとおもいます。以下に概要と場所を表記します。ご確認の上、挟んである申込用紙にてFAX・郵送またはお電話をお待ちしております。もちろん、当日の参加も可能です。

講演会開催要綱

- ☆タイトル : バリアフリーの今
- ☆主催 : 特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター
- ☆日程 : 3月9日(土) 13:30～17:00 (受付開始は13:00から)
- ☆会場 : 船橋市中央公民館 6F 講堂 (〒273-0005 千葉県船橋市本町2-2-5 TEL : 047-434-5551)
場所は下記、地図参照
- ☆定員 : 230名
- *要約筆記をご希望の方は別途お問い合わせ下さい。
- *申し込みは、3月1日(金)までをお願いします。



<申し込み先・お問合せ先>

特定非営利活動法人

船橋障害者自立生活センター

〒273-0005

船橋市南本町 8-25 ラックス船橋

Tel : 047-432-4554 Fax : 047-432-4565

Eメール cil-funabashi@cil-funabashi.org

(担当 : 杉井・小松)

理事就任のご挨拶

職員 小松直勝

2018年11月17日（土）に臨時の理事会が開かれ、代表の体調不良などの理由で小松直勝が新任の理事になり、代表の代わりに船橋障害者自立生活センターの事業に携わっていくことになりました。定款上、選任された最初の総会で承認を得なければならないので、総会開催時に改めて皆様にご報告させていただきます。

ここ数年、船橋障害者自立生活センターは内部で問題が起き、私が気付いた時にはすでに手が付けられない状態でした。むしろ私が口を挟む問題ではないと思い、この問題に関しては当事者たちで解決をしてくれると考えていました。ところが、水面下で済ませられると思っていたこの問題も事態は悪化していき様々な人を巻き込み、迷惑をかけてしまい、挙句の果てに団体の存続問題まで発展してしまいました。

私は船橋障害者自立生活センターという団体に憤慨して、辟易していました。

私が理事を引き受けたのは、「このままでは福祉作業所も相談支援事業も閉まってしまふ。今いる利用者はどうなってしまうんだ。」と思い、前向きな気持ちからではないのです。ですので、総会の時に、私がふさわしくないと思った方は、どうぞ遠慮なく仰ってください。

この問題だった事は一旦忘れたふりをします。駄文失礼しました。

最後に質問です。船橋障害者自立生活センターは必要ですか？

「計画相談を続けます」

代表理事 杉井和男

私たちの自立生活センターの重要な事業の一つである計画相談が5年間の指定の期限がこの3月に更新の時期を迎えます。

なかなか思うように仕事が進まずに利用者や関係者の皆様にご迷惑をおかけしていますが、さしあたり、「特定相談支援」の指定の更新ができるように準備を進めています。

これからも、当事者の立場に立った計画づくりを目指して努力していきますので、ご支援とご鞭撻をお願いいたします。

センターのうごき

<p>8月 9日（木） 田沼敏夫画伯 CG アート展 10日（金） 田沼敏夫画伯 CG アート展 11日（土） 田沼敏夫画伯 CG アート展 9月 20日（木） ピアカン集中講座 21日（金） ピアカン集中講座 22日（土） ピアカン集中講座 10月 10日（水） フェイス相談日 11日（木） 相談支援実地指導 19日（金） 職員会議</p>	<p>11月 1日（木） 自立支援協議会 14日（水） フェイス相談日 15日（木） JIL 研修 16日（金） JIL 研修 27日（火） 相談支援集団指導 12月 11日（火） 認定審査会 12日（水） フェイス相談日 14日（金） 職員会議 27日（木） 仕事納め 2019年1月 7日（月） 仕事始め 9日（水） フェイス相談日</p>
--	--

会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただいている方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員が 3,000 円、賛助会員が 5,000 円、団体が 10,000 円となっております。

同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパなどを送っていただく際に、便利なように同封したものです。

なお、納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

編集後記

バリアフリーという言葉は漢字にすると障壁除去。まさに障害者にとっての障壁がいたるところに沢山あります。

日本では 1970 年ころから「福祉のまちづくり」を目指す行動が進められました。その結果、点字ブロックやスロープを道にしかれたり。しかし、その上に自転車などが置かれていたら意味がない。

船橋駅前数年前に駅前の自転車除去と電柱を地中に埋めました。後は、もっと歩道が広くなればいいですね。

職員 小松直勝

カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。厚くお礼申し上げます。（順不同）

佐藤 輝子様	田尾 幸三様
井川 雄二様	田沼 敬三様
下舞 勇夫様	

発行所 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号室

障害者団体定期刊行物協会
頒価 100円